平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	8	ー	1

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	子育て支援拠点事業					
評価者	担当課名		保育所	担当係名		児童保育係
	管理職	職名	所長	作成者	職名	係長
		氏名	豊田　通敏		氏名	斉藤　智美
事業の概要	地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、育児の悩みを抱える母親への相談指導やサークルへの支援、遊びを通して親子の楽しい交流の場など地域の子育て支援を進める。					

全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	9,558 千円
	地方債	千円
	その他	42 千円
	一般財源	千円
	事業費計	9,600 千円

実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～			
	基本施策	8	子育ち・子育ての充実			
	単位施策	2	「子育て」支援の強化			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等		次世代育成支援行動計画			

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	3,681 千円	3,440 千円	638 千円	740 千円	750 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	15 千円	10 千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	3,696 千円	3,450 千円	638 千円	740 千円	750 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	子育て家庭
【抱える課題やニーズは】	子育てに不安やとまどいを感じる母親が増加している。
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、育児支援を図る。
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	育児の不安や孤独な子育ての解消がはかられ、子どもが健やかに育つ。

望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）

利用者数、あそびの広場開設数

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 年間利用者数	目標年度	平成23年度
	目標値	6,000 人
	実績値	4,084 人
	達成度	68.1 %
② 親子教室開設数	目標年度	平成23年度
	目標値	90 回
	実績値	126 回
	達成度	140.0 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①仲良し親子教室	主に0～3歳児の子育て世代親子を対象に年齢に応じた遊びの紹介を行い、仲間作りの場の提供を行った。
②育児相談等	月～金曜日までセンターの解放を行い、来所する親子の交流と育児、保育所等に関する相談業務を行った。
	転入してきた子育て家庭に子育て支援センターの紹介文章を配布（三箇住民係にて）

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	少子化や核家族化などにより、育児不安感や負担感が増加する中、親子の遊びの場や交流の場の確保、相談・援助の実施など子育て支援は必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 □達成 ■ほぼ達成 □下回る	子育て支援センターを利用することにより、子育ての情報交換や仲間づくりの貴重な場となっている。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	保育所内に設置されていることにより備品、物品等の供用や保育職員間の連携ができる。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある ■受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	町内全ての乳幼児・保護者が無料で利用可能。町広報等に子育て支援センター情報を掲載し、広く周知している。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
普及活動を行ったことにより利用者増につながり、子育てに悩みを抱える母親にとって、情報交換、仲間づくりの貴重な場となっている。今後も計画通り進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
関係機関と協力して保護者に向けての講座等を開催し、内容の充実を図る。育児情報交換や交流の場として、より一層子育て親子が来所しやすい環境を整え利用者増を図りたい。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）